

令和6年度事業報告書		事業所名	デイ城山	作成者	榎原 翔	作成日	R7.3.31
目標	本年テーマ	(計画)「できないからできるに変わる」→ご利用者様・職員にとって居心地の良い環境作り (評価)ご利用者様・職員の能力を最大限発揮できる環境を整えることができた。					
基本処遇及び運営	■令和6年度処遇及び運営方針に対する評価						
	(計画)						
	①「できる」「できた」ことを最大限発揮できる環境						
	②過ごしやすい環境・働きやすい職場環境						
	(評価)						
	①カンファレンス書式を改訂しご利用者様の「できる・できた」ことを可視化したことをご利用者様の持っている能力を活かしたケアを行うことができた。一方で、検討した内容について職員に伝わっていないことがあり、カンファレンス内容について周知する方法に課題が残る結果となった。						
	②以前より課題であった、送迎管理について送迎人員を増員し職員軽減に繋がった。又、送迎表の見直しや送迎順を変更し、効率のよい送迎管理を行い、送迎時間の短縮につながった。						
研修・セミナー	■職員研修計画と実績						
		研修名称	参加実績	研修名称	参加実績		
		令和7年度介護支援専門員更新研修	榎原				
		初任者重点テーマ強化研修	片山				
		安全運転管理者講習	西原				
会議・委員会・内部研修	■会議・委員会計画実績・効果						
		会議委員会名	実績・効果	会議委員会名	実績・効果		
		【事業部内会議・委員会】		【法人指定会議・委員会】			
		事業部会議	2か月に1回開催	営業会議	月に1回開催		
		給食会議	月に1回開催	相談員会議	月に1回開催		
		業務改善委員会	月に1回開催	地域支援委員会	月に1回開催		
		事故予防・発生対応委員会	事業部会議にて実施	安全衛生委員会	月に1回開催		
		身体拘束予防委員会	事業部会議にて実施	50周年記念事業(内部)	月に1回開催		
		感染症対策委員会	事業部会議にて実施	50周年記念事業(外部)	月に1回開催		

■災害訓練計画・実績				
防災・災害	訓練予定月	実施月	訓練目的	訓練評価
	令和6年7月	7月	避難訓練・消火訓練・通報訓練	想定した災害に対し、避難経路の確認や誘導手順、初動時の対応について再認識できた。
	令和7年3月	3月	避難訓練・消火訓練・通報訓練	想定した災害に対し、避難経路の確認や誘導手順、初動時の対応について再認識できた。

■月別行事(下段)・内部研修報告(上段)	
月度	
4月	事業部会議 内部教育訓練:身体拘束及び権利擁護について
	花見会 創作活動
5月	
	母の日 創作活動
6月	事業部会議 内部教育訓練:緊急時対応・BCPについて(災害時・感染症)
	父の日 創作活動
7月	
	昼食会 創作活動
8月	事業部会議 内部教育訓練:入浴介助・ボディメカニクスの活用について
	そうめん流し 創作活動
9月	
	敬老会 創作活動
10月	
	秋祭り 創作活動
11月	事業部会議 内部教育訓練:ハラスメントについて
	秋の運動会 創作活動
12月	事業部会議 内部教育訓練:感染症の発生時対応及び予防対策について
	忘年会 創作活動
1月	
	新年会 創作活動
2月	事業部会議 内部教育訓練:法令遵守とコンプライアンスについて
	節分会 創作活動
3月	事業部会議
	ひな祭り 創作活動

(総評)  
 数値目標 29.2名/日平均に対し、29.05名/日の実績となる。第2四半期以降は徐々に新規利用者の紹介が増え、徐々に稼働率が上がったが、上期の数値状況が低迷したことも影響し、目標に達することができなかった。  
 今年度は、ご利用者様・職員にとって居心地の良い環境作りというテーマのもとに、カンファレンス方法の変更や書式の変更を行い、ご利用者様にとって必要な支援を可視化することで、ご利用者様にとって必要な支援を適切に行うことができました。一方で、カンファレンスの参加時には各セクションの意見を集約し代表者が会議に臨む形式を取りましたが、カンファレンス数の多さや開催日までの日数が短い為、各職員に意見を聴取する事が難しいこともあり、現在のカンファレンス方法に課題が残る結果となり、今後のカンファレンスを効率的に行う方法の検討が必要であると感じた。  
 職員の職場環境については、以前より送迎業務量の負担(時間・介助内容・人員等)がありましたが、送迎表の見直しや送迎工程の見直し、送迎職員の増員を行った結果、送迎時間の短縮や送迎に係る負担感が軽減した。